

# 4つのCSR重要課題

方針

KDDIグループ

## KDDIのCSR重要課題

KDDIは、事業活動に関わるさまざまな課題のなかから、社会的な関心が高く、かつKDDIが社会とともに持続的成長を目指すために重要な課題として、4つのCSR重要課題を定めています。

			
安定した情報 通信サービスの 提供	安心・安全な 情報通信社会の 実現	多様な人材の 育成による活力 ある企業の実現	地球環境保全 への取り組み

### 重要課題特定および見直しのプロセス

STEP 1

**検討すべき社会課題の把握、整理**  
KDDIを取り巻く社会課題を抽出。  
抽出にあたっては、自社の方針に加え、GRI G4やSASB、ISO26000などの世界的な枠組みや、国内外の社会課題、CSR評価項目を加味し、課題項目を特定

---

STEP 2

**優先順位付け・妥当性の確認**  
STEP1で抽出した課題項目を「①社会（ステークホルダー）の関心」「②KDDIの持続的成長のためのCSR課題」の2軸で優先順位付けし、双方にとって重要度が高い4つのテーマを特定

---

STEP 3

**重要課題の特定**  
特定した4つのテーマはCSR・環境委員会（現：CSR委員会）で妥当性を確認し、重要課題として特定

浸透

KDDIグループ

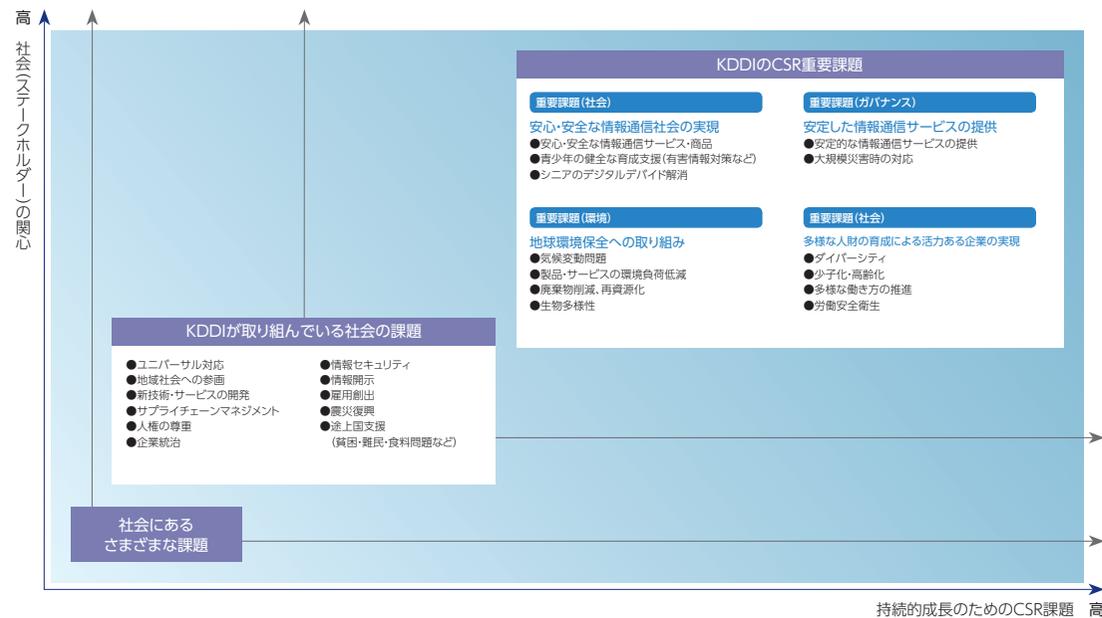
## CSR重要課題の浸透

KDDIは、特定したCSR重要課題をグループ全体に浸透させるよう取り組んでいます（推進担当：KDDI CSR・環境推進室）。  
さらに、ダイアログをはじめとして、ステークホルダーと積極的な対話を行い、そのなかでいただいたご意見やご指摘を今後のCSR活動の推進に反映させています。

 [Website](#) **ステークホルダーダイアログ**

重要課題の対象範囲		浸透のための施策
社内	KDDIおよびグループ 165社	・イントラネット、社内報による意識啓発 ・eラーニングの実施
社外	お取引先さま	「KDDI CSR 調達方針」および「KDDIサプライチェーンCSR推進ガイドライン」による啓発

### 社会の課題と4つのCSR重要課題



## 4つのCSR重要課題

## 活動・実績

## KDDI

## CSR重要課題における目標・実績・課題

〈優先度の指標〉

優先度の高い項目順に  
[A、B、C]で評価

〈評価指標〉

A+：課題に対し大幅な成果が得られた

A：一定の成果が得られた

B：取り組みを行ったが、成果を得るにいたらなかった

C：取り組みなかった

2016年度のCSR重要課題における主な目標と実績および2017年度の主な課題とその対策案を報告します。

	優先度	重要課題	目標およびKPI	パウンダリー		2016年度活動実績	評価	今後の課題
				組織内	組織外			
ガバナンス	A	安定した情報通信サービスの提供 (大規模災害対策のさらなる強化)	・ 災害対策訓練において抽出された課題改善率 100%	●	●	・ 課題改善率100%	A	・ 被災地域の的確・迅速な情報収集体制の構築 ・ 設置型船舶用衛星アンテナを活用したさらなる衛星ネットワー ク環境の強化
	B	CSR活動推進体制の強化	・ CSR委員会における次期環境保全計画の審議お よびCSR活動に関するPDCAの実施	●		・ 第4期環境保全計画「KDDI GREEN PLAN 2017-2030」 の策定・公表 ・ SDGsを参考にしたCSR重要課題の見直し着手	A+	・ 環境保全計画の進捗報告 ・ SDGs等、社外ステークホルダーの声を取り入れた重要課題の 選定 ・ 事業を通じた戦略的なCSR活動の推進 ・ CSRに関する従業員の認知・意識の向上
	B	理念・規範の浸透	・ 「KDDIフィロソフィ」の継続した浸透活動 ・ 改訂した「KDDI行動指針」の浸透	●		・ 「KDDIフィロソフィ」全従業員向け勉強会のべ参加人数 24,787名 ・ 「KDDI行動指針」関連eラーニング受講率 87% ・ 全社員を対象としたコンプライアンス関連レクチャーメール の配信	A	・ 「KDDIフィロソフィ」の継続した浸透活動 ・ コンプライアンスに関するレクチャーメールの継続配信
社会	A	安心・安全な情報通信社会の実現 (「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」の品質向上)	・ KPI向上に向けた施策の検討(トラブルの多様化 にともなうプログラムの見直し、シニア向け講座 に関する新しいニーズへの対応)	●	●	・ ジュニア向け講座満足度93.7点 ・ シニア向け講座理解度 82% ・ 防災対策を学ぶコースの新設(シニア向け講座)	A	・ トラブルの多様化にともなう各種プログラムの充実 ・ ジュニア向け講座:講師満足度94%、教材満足度94%、再 申込意向度92% ・ シニア向け講座:理解度83%、活用度85%
	A	多様な人財の育成による活力ある 企業の実現(ダイバーシティのさら なる推進)	・ 2020年度末までに女性ライン長200名登用に 向けた施策の推進	●		・ 2017年4月1日時点の女性ライン長111名	A	・ 2020年度末までに女性ライン長200名登用に向けた施策の 推進
	B	サプライチェーンCSRの推進	(1) KDDIサプライチェーンCSR推進ガイドライ ンのお取引先さまへの公開 (2) CSR調達アンケート回収率(ほぼ100%) (3) 産業廃棄物処理委託会社および携帯電話手 分解作業委託会社に対する監査の実施	●	●	(1) CSR調達アンケートの実施 (2) CSR調達アンケート回収率(ほぼ100%)とともに「KDDIサ プライチェーンCSR推進ガイドライン」の周知実施 (3) 監査実施率 100%	A	・ お取引先さまと協働したCSR推進 ・ KDDIサプライチェーンCSR推進ガイドラインの英語版公開

## 4つのCSR重要課題

〈優先度の指標〉

優先度の高い項目順に  
「A、B、C」で評価

〈評価指標〉

A+：課題に対し大幅な成果が得られた  
A：一定の成果が得られた  
B：取り組みを行ったが、成果を得るにいたらなかった  
C：取り組めなかった

	優先度	重要課題	目標およびKPI	バウンダリー		2016年度活動実績	評価	今後の課題
				組織内	組織外			
社会	B	人権への対応	・全従業員への人権啓発の推進	●	●	・LGBTへの対応に関するeラーニングの実施 ・ステークホルダーダイアログを通じた人権リスクの認識 ・ビジネスと人権に関する国際会議への出席	B	・人権尊重に向けた啓発活動のさらなる工夫
	A	地方創生を目的とした新規施策の検討および実施	・地方創生に結びつく継続した支援活動の実施	●	●	・鹿児島県・喜界島での「しまものプロジェクト(しまものラボ)」の実施	A+	・「しまものプロジェクト(しまものラボ)」の年間1エリア以上での実施 ・地方自治体やNGO、NPOとのパートナーシップ強化
環境	A	地球環境保全への取り組み (第3期中期環境保全計画の遂行)	・電力消費量(省エネ対策を講じない場合との比較) 2016年度までに30%抑制	●	●	・目標達成 41.8%抑制	A+	・「KDDI GREEN PLAN 2017-2030」の遂行 地球温暖化対策 循環型社会の形成 生物多様性
			・加入者あたりの電力消費量(2011年度比) 15%削減			・目標達成 38%削減	A+	
			・トライブリッド基地局設置数 100局(2012年度目標)			・トライブリッド基地局設置数 100局(2013年3月末)	A	
			・撤去通信設備のゼロエミッション徹底 最終処分率 1%以下 (最終処分率1%以下をゼロエミッションと定義)			・目標達成 0.4%	A+	
			・使用済み携帯電話の材料リサイクル率 99.8%以上			・目標達成 99.8%	A	
			・自社ビルおよび本社ビルを対象とした一般廃棄物の材料リサイクル率 90%以上			・目標未達 83.6%	B	
	A	第4期環境保全計画の策定	・2017年度以降の中期計画の検討	●	●	・「KDDI GREEN PLAN 2017-2030」を策定、公表	A+	
B	サプライチェーンの課題把握	・3か年の傾向把握による今後の削減施策の検討 (次期環境保全計画への反映)	●	●	・スコープ3について、2015年度分全15項目の算定・公表	A	・5か年の傾向把握によるさらなる削減施策の継続検討	
B	環境コミュニケーションの強化	・エンゲージメントにおいて抽出された課題への対応	●	●	・CSR調達、グリーン調達のさらなる推進	A	・「KDDI GREEN PLAN 2017-2030」に関する全社員向けeラーニングの実施	
C	生物多様性保全の推進	・生物多様性保全の新たな取り組みの検討	●	●	・タブレット端末とソリューションサービスを活用した森林調査を実施、新たな取り組みとして害獣被害対策に着手	A	・生物多様性保全の新たな取り組みの実施	

## 4つのCSR重要課題

### 方針・体制

### KDDI

#### CSR重要課題の見直し

KDDIは、2008年にCSR重要課題を特定しましたが、国連「持続可能な開発目標(SDGs)」やパリ協定の採択・発効など、近年の大きな社会情勢の変化を受けて、特定済みの重要課題が現状に即しているのかどうかを再確認するため、重要課題の見直しを行っています。

CSR課題の特定にあたっては、GRIスタンダードにもとづき「ステークホルダ

ーの評価や意思決定への影響」と「自社が社会・環境・経済に与えるインパクト」の2軸から検証を行いました。本検証ではステークホルダーの評価の視点として、SDGsを軸にしており、検証の過程で、SDGsの17の目標および169のターゲットに対するKDDIの現状の重要課題および事業活動との関連性を洗い出し、マッピングを行いました。

あらためて特定している重要課題については、外部有識者とのダイアログをはじめとする各種ステークホルダーエンゲージメントを通じて妥当性を検証しており、2017年度には策定した重要課題を公表するとともに、SDGsへの貢献を意識して事業活動を行っていくために、社内浸透を図っていきます。

### 活動

### KDDI

#### KDDIのSDGsへの貢献

KDDIは、世界中のモバイル通信事業者を代表する「GSMA」の理事に、2017年1月から選任されています。GSMAは、SDGsが掲げる17の目標に対して貢献していくアプローチを発表しており、2017年2月には災害発生時に通信事業者が保有するビッグデータを活用し、人道支援に役立てるイニシアチブ「Big Data for Social Good」を開始しました。KDDIもこの取り組みに参画しています。

#### KDDIの事業・CSRとSDGsの関連性

	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸上の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
	貧困をなくす	飢餓をなくす	健康と福祉	質の高い教育	ジェンダー平等	きれいな水と衛生	誰もが使えるクリーンエネルギー	ディーセントワークと経済成長	産業、技術革新、社会基盤	格差の是正	持続可能なまちづくり	持続可能な消費と生産	気候変動へのアクション	海洋資源	陸上の資源	平和、正義、有効な制度	目標達成に向けたパートナーシップ
安定した情報通信サービスの提供							●	●	●		●		●				●
安心・安全な情報通信社会の実現				●					●							●	●
多様な人財の育成による活力ある企業の実現					●			●		●							●
地球環境保全への取り組み							●		●			●	●	●	●		●
その他の課題		●		●		●			●							●	●
事業活動	●		●	●			●	●	●			●	●			●	●